

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱東京UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座731-677
 発行人 松本 祐之
 編集人 山田 真

No.386 目次

- ◆精度管理調査報告会開催報告……………(2)
- ◆平成25年度西三河地区研修会報告 ……(3)
- ◆地区だより……………(3)
- ◆名古屋ウィメンズマラソンに参加して
 ー第2報ー……………(4)
- ◆平成26年度新人サポート研修会 ……(5)
- ◆第50回愛知県
 糖尿病療養指導研究会学術講演会…………(7)
- ◆検査説明・相談ができる
 臨床検査技師育成講習会のご案内(第一報)…(8)
- ◆基礎講座……………(8)
- ◆世界禁煙デーキャンペーン
 ボランティア募集について……………(9)
- ◆AICCLS 愛知県臨床検査標準化協議会
 通信(第27回)……………(10)

平成26年度 定時総会の開催にあたって

庶務部長 藤田 孝

来る6月28日(土)午後3時00分より、栄ガスビル501会議室におきまして公益社団法人愛知県臨床検査技師会平成26年度定時総会を開催いたします。この総会は公益社団法人となって最初の総会となります。平成25年度の事業報告および決算を審議するとともに、役員改選となりますので新役員についても審議いたします。また、平成26年度事業計画、収支予算も報告いたしますので、ご多忙とは存じますが何卒多数の会員の皆様にご出席いただき、十分なご討議、ご意見をいただきますようご案内申し上げます。

平成25年度も、例年同様、総会で承認されました事業を滞りなく遂行することができました。これもひとえに会員の皆様のご理解とご支援の賜物と感謝申し上げます次第です。

主な事業としては、公益社団法人認定記念式典を6月16日に開催し、認定記念特別講演会として中部大学の武田邦彦教授に御講演いただきました。また、公益事業として毎年恒例となりました海岸清掃ボランティア活動、世界禁煙デー街頭啓発キャンペーンや世界エイズデーパレード、ピンクリボン街頭キャンペーンなど積極的に事業展開いたしました。毎月2回開催されます休日HIV抗体検査を通じて、県民の健康・福祉増進事業のための活動も行い、これらの事業はいずれも、研究班及び会員の皆様のご協力無くしては滞りなく実施することができませんでした。学術活動では、新人サポート研修会やスキルアップ研修会、第14回愛知県医学検査学会(西三河地区担当)が開催され、いずれも非常に多数のご参加をいただき活発な活動が行われました。精度管理事業では、愛知県健康福祉部のご指導のもと、愛知県医師会及び愛知県病院協会との共催でサンプルサーベイ、フォトサーベイを行い、例年同様、大きな成果を挙げております。

地区活動による研究会や研修会、勉強会の開催に加え、学術部研究班活動も活発に行われ、臨床検査技師、衛生検査技師の資質向上及び学術技能研鑽、地域医療の向上と県民の健康保持及び増進に寄与して参りました。

平成26年度も主たる事業は例年同様実施することに加え、新たに「検査説明・相談のできる臨床検査技師育成講習会」も開催いたします。是非とも多数のご参加をお願いいたします。

愛臨技事業はますます盛んになってきており、さらなる会員の皆様の本会へのご協力とご参加をお願いする次第です。

最後に、定時総会には是非ともご出席をいただき、技師会及び臨床検査の発展のためご意見をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

精度管理調査報告会開催報告

愛知医科大学メディカルクリニック 臨床検査科

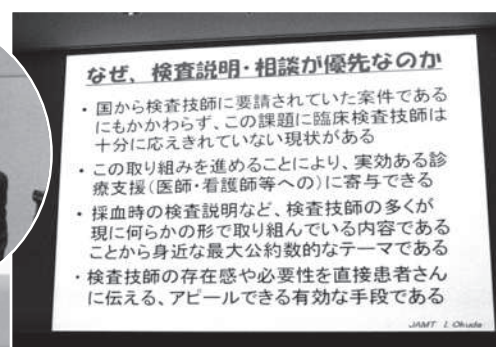
寺田 達夫（精度管理事業部 事務局員）

平成26年3月8日(土)、名古屋第一赤十字病院の内ヶ島講堂にて平成25年度愛知県臨床検査精度管理調査報告会が開催されました。近年は総会との合同開催でしたが、本年度は総会が6月に変更となったため、特別講演2題との合同開催としました。おかげで、参加者の数が予想しづらい状況でしたが、当日は131人（会員122名、賛助会員8名、非会員1名）と多くの会員の参加をいただくことができました。報告会では、臨床化学検査、免疫血清検査、血液検査、一般検査、生理検査、輸血検査、微生物検査、細胞検査、病理検査の9部門の事業部員から、また精度管理調査の概要やアンケート結果を事務局員から報告しました。各部門からは、限られた時間の中で調査内容と結果について報告がありました。

今年度は、日臨技精度管理事業・データ標準化事業システム（JAMTQC）を使用し、webでの都道府県技師会臨床検査精度管理調査を実施しました。JAMTQCを活用することで、参加施設側のデータ入力や結果参照などはもちろん、実施側の各種の集計

や解析作業の効率化を目指しました。しかし、部門によっては、実技サーベイ、菌種や不規則抗体の同定過程のサーベイ、日臨技未調査項目など、愛臨技精度管理独自のサーベイを計画しても詳しい設定マニュアルがない、マスター設定作業が非常に煩雑などの理由で、事前に十分な検証が行えませんでした。その結果、幾つかのシステム不備に気付かず参加施設にご迷惑をおかけしてしまいました。次年度以降は、マスター設定やシステムの不備を少しでも減らし、まずは参加施設にとってより使い勝手の良いJAMTQCシステムとしていきたいと考えています。

平成26年度の精度管理調査に向けての準備は既に4月から始まっています。昨年度の精度管理調査の際に参加施設から頂いた貴重なご意見や、愛臨技精度管理調査の特色を活かしたより完成度の高い精度管理調査を目指していきたいと考えています。本年度の愛臨技精度管理調査も多くの施設のご参加をお願いいたします。



平成 25 年度西三河地区研修会報告

職場のメンタルヘルス

「仕事を休む人に何が起きているのか？」

西三河地区理事 岡崎市民病院 丹羽京太郎

2月22日、八千代病院において上記をテーマとし南豊田病院 精神科医師の足立康則先生に講演をお願いいたしました。臨床の最前線、企業の産業医も担当されている先生でもあり、多くの症例を提示し、うつ病の診断基準、問題点、職場での対応、他精神疾患等について丁寧に解説して頂き、非常に興味深い講演であると共に考えさせられる講演でもありました。他地区会員、一般の方を含め多数の参加者で、周囲に「出勤出来なくなる人」「うつ病と診断された人」「精神疾患を抱えている人」が増え、その対応について真剣に考えていることが感じられます…。

大切なのは、当事者の話に丁寧に耳を傾け、慎重な対応が必要であること。「新型うつ病」といった病名は存在せず、うつ病と言っても非常に多くのパ

ターンがあること。特異的なバイオマーカーがなく、精神科は診断医師によって意見の異なることが他科と比べて多いという特徴があり、精神疾患の難しさを考えさせられました。日本においても社会問題化していますが、欧米に比べうつ病患者の報告数は少ないとのこと。まだ精神科のドアを叩くといったことにどこかで抵抗があることが原因でしょうか。実際は同レベルの患者数であると推測され今後は増えていくと予想されています。うつ病はどんな人でも罹患する可能性があり、命にもかかわる問題でもあります。職場においては環境、業務内容、量の調整を考慮し、うつ病などの精神疾患について理解を深めておくことが重要であると感じました。

現在「うつ病」のバイオマーカーは存在しないとのこと。これは臨床検査技師としても残念でしたが「将来、検査技師の研究により発見されることを期待しています。」と講演を締めくくられました。

地区だより

小牧市民病院 臨床検査科 未来の会 小牧市民病院 臨床検査科 大野 則仁

こんにちは…小牧市民病院 臨床検査科です。

当院検査科には、“未来の会”なるものが存在します。

未来の会とは…2000年に発足した検査改革委員会(硬着した古い体制から脱却し、新たに生まれ変わるための委員会)。検査業務一般の能率向上およびその技術の洗練化を目的として発足し、検査室体制の大部門化、勤務体型のバリアフリー化、フレックスタイムの導入、中央採血化、検査ワンフロア化、救急外来直近夜間緊急検査室設置、検査項目のアウトソーシングなどなどを改革実施した会の後任の会として2002年より活動しています。

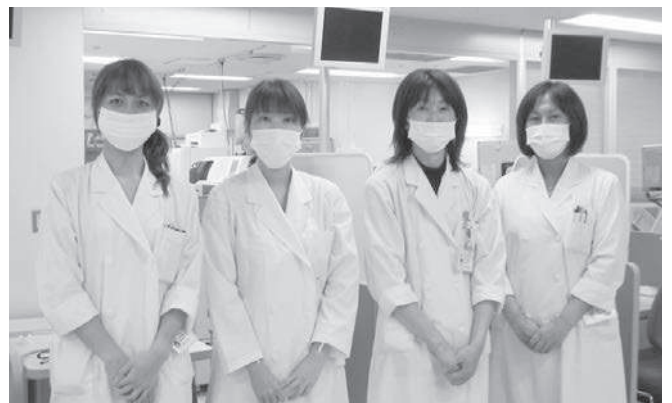
若手技師数名を中心のメンバー(基本的に技師全員がメンバー)として、目標を立て進む方向を決め、各種勉強会や問題解決のための検討・討論なども行っています。不定期ではありますが、全体会として問題提議し、解決策を見出し、それを主任会や幹部会に提言するなど行っています。活発に議論される事も若い技師の柔軟な思考の元、数々の成果を挙げ

てきたことは明白な事実です。

2010年に受診した病院機能評価においても、多大な評価をいただきました。

和気藹藹、そんな中にも厳しさを見出せる連中の集まり会…

今後ともよろしく願いいたします。



(写真向かって左より、繁田涼子技師、小川有里子技師、山田真美子技師、余語智美技師(委員長))

名古屋ウィメンズマラソンに参加して —第2報—

独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院 宇野 智子

昨年初ハーフマラソンを走り、辛かったけれど達成感を感じた私は無謀にも今年の名古屋ウィメンズマラソンの抽選に応募しました。当選が分かった瞬間「どうしよう…。」が正直な感想でした。でもせっかく出るからには完走したい！と思い練習を始めました。ところが練習中に転んで捻挫、治ってしばらく練習を続けていたら本番1ヶ月前に脚が痛くて走れなくなる事態に。「走れば走るほど不健康になるよね（笑）」同僚にそう言われながら、走れないなりに水泳などで基礎体力作りをしました。そして迎えた本番、一か月ぶりのランニングは42.195km！そんな状態だったので、ゆっくり自分のペースで走り始めました。走り始めると面白い仮装ランナーがいたり、個性的な沿道の応援もあり、それらを探すことに気を取られるぐらいでした。ランナーも沿道の人もお祭り気分といった感じでとても楽しく走っていられました。しかしそんな楽しさとは無縁になったのは30kmを過ぎた辺りから。何か取り憑いてるの？！と思うぐらい脚が重い…。給水で立ち止まると走り出せない状態です。そんな時、私の背中を押してくれたのが沿道から聞こえる「がんばって」の声援でした。一步一步その声に押されるように何とかゴールまで走りきることが出来ました。ゴールした時はものすごい達成感とやっと終わったというほっとした気持ちに包まれたと同時に、応援



してくれた人達や、寒い中頑張ってくれていたボランティアの方々への感謝の気持ちでいっぱいになりました。マラソンは一人で黙々走るものだと思っていましたが、みんなで楽しみ励ましあう、そんなスポーツだと知りました。もし来年の抽選に応募して当選したら「やったー！」って喜べるぐらい、楽しい時間が過ごせました。

原稿募集

今回、ウィメンズマラソンの2報を掲載させていただきました。独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院検査室は体育会系か？いいえ、皆さんの検査室にも色々な趣味をお持ちの方がみえると思います。写真、趣味、豆知識、コーヒブレイクなど、ジャンルを問いません。広く随時原稿を募集しております。愛臨技事務所へメールでお送りください。



平成26年度 新人サポート研修会

目 的：新人技師を対象に日当直業務に必要なスキル習得研修会	12：10～13：00	③ランチョンセミナー A：「甲状腺疾患と臨床検査」 ロシュ・ダイアグノスティックス(株) B：「緊急時の血液ガス分析」 ラジオメーター(株) C：「薬物中毒検出用キットの性能と活用方法」 シスメックス(株) D：「陰性？陽性？－結果判定に苦慮するPOCT－」 デンカ生研(株)
日 時：研修会Ⅰ 平成26年6月21日(土) 14：30 受付 14：50 開始 研修会Ⅱ 平成26年6月22日(日) 9：00 受付 9：20 開始		
会 場：中部大学 生命健康科学部 55号館講義室(5511, 5512)		
締 切：平成26年5月31日(土) まで 会場収容人数に制限がありますので、お早めにお申し込み下さい。		
参 加 費：2,000円 テキストは当日配布します。 研修会Ⅰと研修会Ⅱは各々申し込み、受付が必要になりますが、参加費は 研修会Ⅰ参加、研修会Ⅱ参加、研修会Ⅰ・Ⅱ参加ともに2,000円となります。	13：10～14：10	④日本臨床検査技師会および技師会活動の紹介
そ の 他：6月22日(日)のランチョンセミナー参加券は受付時に先着順となります。	14：10～15：25	⑤一般検査研究班：尿定性検査と髄液検査の基礎
生涯教育：専門教科：各20点	15：35～16：50	⑥輸血検査研究班：輸血業務の基礎
	16：50～17：05	⑦病理細胞検査研究班：病理・細胞検体の保存と処理方法
	17：05～	閉会式

6月21日(土) 新人サポート研修会Ⅰ (専門教科：20点)

14：30～14：50	受付
14：50～15：00	開会式
15：00～16：15	①生物化学分析検査研究班：緊急検査関連の生化学・免疫検査について
16：25～17：40	②血液検査研究班：緊急検査関連の血液検査について

6月22日(日) 新人サポート研修会Ⅱ (専門教科：20点)

9：00～9：20	受付
9：20～10：35	①生理検査研究班：心電図検査の基礎
10：45～12：00	②組織部企画：医療従事者の接遇基礎

※「らぼニュース」4月号での案内より受付開始時刻と生涯教育の変更を行いました。ご了承下さい。

主 催：公益社団法人 愛知県臨床検査技師会
学術部



公益社団法人 愛知県臨床検査技師会宛
F A X 番号 (052) 586-5680

平成26年度 新人サポート研修会 申込書

日 時：平成26年 6 月21日(土)、 6 月22日(日)
会 場：中部大学 生命健康科学部 55号館講義室 (5511, 5512)
参 加 費：2,000円 テキストは当日配布します。
締 切：平成26年 5 月31日(土) (定員になり次第締め切ります)
問 合 せ：安城更生病院 臨床検査技術科 岡田 元
0566-75-2111内線6155 genokada@kosei.anjo.aichi.jp

施設名：	連絡先
申込責任者：	TEL：
	FAX：
	MAIL：

	参 加 者 名 (会員番号)	会 員 状 況	交通手段 (予定)	研修会 I 6月21日	研修会 II 6月22日
例	愛知 花太郎 832490	会 員 申請中 非会員	スク(○)ルバス 自家用車 その他	○	×
1		会 員 申請中 非会員	スクールバス 自家用車 その他		
2		会 員 申請中 非会員	スクールバス 自家用車 その他		
3		会 員 申請中 非会員	スクールバス 自家用車 その他		
4		会 員 申請中 非会員	スクールバス 自家用車 その他		
5		会 員 申請中 非会員	スクールバス 自家用車 その他		
6		会 員 申請中 非会員	スクールバス 自家用車 その他		
7		会 員 申請中 非会員	スクールバス 自家用車 その他		
8		会 員 申請中 非会員	スクールバス 自家用車 その他		
9		会 員 申請中 非会員	スクールバス 自家用車 その他		
10		会 員 申請中 非会員	スクールバス 自家用車 その他		

※受付票は発行しません。

会場案内



交通案内

会場（中部大学）へのアクセスにはJR中央本線「神領駅」よりスクールバスの利用が可能です。また自家用車でお越しの方は、ゲートでの案内に従って駐車して下さい。他の交通経路もありますので中部大学HPの交通アクセスを参考にして下さい。

スクールバスを利用される方は、6月21日は14:05、14:20また6月22日は8:30、8:50神領駅発を利用されることをお勧めします。

お知らせ

生涯教育点数が関係する行事に参加される方は、必ず会員証をお持ち下さい。
会員証をお忘れになった方は、自己申請して頂くことになります。
申請用紙は愛臨技HPの各種手続きにあります。

第50回 愛知県糖尿病療養指導研究会 学術講演会

「妊娠糖尿病を学ぶ」

日時：平成26年6月22日(日) 13:00～16:25
場所：名古屋大学医学部附属病院 3階講堂
一般講演13:05～14:40

司会：碧南市民病院 岡田 照代
「妊娠糖尿病～健康への第一歩～」

トヨタ記念病院 看護師 小澤 由美
「妊娠と糖尿病をもつ女性への接し方」
春日井市民病院 看護師 谷口美和子

「産科からみた妊娠糖尿病患者への療養指導」

春日井市民病院 助産師 山田みちよ
特別講演14:50～16:15

司会：半田市立半田病院 鈴木 綾子
「妊娠糖尿病について」

春日井市民病院副院長

医療連携室長・栄養管理室長

佐々木洋光 先生

★本講演会は、「日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修会」として第1群1単位、第2群1単位が認定予定です。どちらかを選択してください。

【参加費】 愛知県糖尿病療養指導研究会会員無料、その他参加者1,000円

検査説明・相談ができる 臨床検査技師育成講習会のご案内(第一報)

平成19年12月28日付厚生労働省医政局長通知（医師及び医療関係事務職員等との間等での役割分担の推進）をうけ、日臨技では検査説明・相談ができる臨床検査技師育成を重点課題とし、各都道府県技師会と共催で講習会を企画しております。愛臨技では患者接遇や検査説明・相談の実際を、体験型ロールプレイを通して体験していただく予定です。募集は6月のらぼニュースに掲載しますので多数の出席をお願いいたします。

開催日：平成26年8月30日(土)、31日(日)
会場：名古屋大学医学部附属病院 3階講堂
名古屋市昭和区鶴舞65番地
電話：052-741-2111

基礎教科：30点

共催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
後援：厚生労働省、公益社団法人 日本医師会、
公益社団法人 日本看護協会、公益社団法人 日本病院会、公益社団法人 全日本病院協会、公益社団法人 全国自治体病院協議会、一般社団法人 日本臨床検査医学会、チーム医療推進協議会



基礎講座

輸血検査研究班

専門教科：20点

日時：平成26年7月27日(土) 9:00～17:00

場所：名古屋市立大学医学部 基礎研究棟

テーマ：実技講習会「わかる・できる 輸血検査」

講師：輸血検査研究班班員

内容：血液型、不規則抗体スクリーニング、不規則抗体同定検査及びその他追加検査に必要な基本手技と知識の習得

定員：約50名

参加費：7,000円

申込方法：下記申込事項について、E-mailでお申し込みください。申し込み後1週間以内に受領メールが届かなかった際は連絡先までお問い合わせください。

携帯メールからの応募はできません。

アドレス：2014aichikiso@gmail.com

申込事項：①会員番号 ②氏名 ③かな氏名 ④施設名 ⑤所属 ⑥施設住所 ⑦TEL(内線) ⑧輸血検査経験年数

連絡先：日進おりど病院 臨床検査科
小木曾美紀

TEL 0561-73-7771 (内157)

申込期限：平成26年6月30日(月)

注意事項：定員になり次第締め切ります。受付後にキャンセルされた場合、参加費をいただく場合があります。

2014年4月10日現在 正会員数 2,752名

※求人情報、理事会・常務理事会議事録はホームページを御覧いただくか、事務所へお問合せください。



世界禁煙デーキャンペーン ボランティア募集について

愛知県では、平成26年5月31日(土)の「世界禁煙デー」および同日から6月6日(金)までの「禁煙週間」に合わせて、喫煙の健康影響についての知識普及を図るため、キャンペーン活動を実施します。

愛臨技もこのキャンペーンに積極的に参加します。臨床検査技師の社会的認知度を上げる機会でもあります。愛煙家のあなたも、このキャンペーンに参加して禁煙しませんか？

会員の皆様の多数の参加をお待ちしております。

(変更があった場合には参加者にお知らせいたします。)

内 容：世界禁煙デーおよび禁煙週間についての呼びかけや啓発資料の配布

生涯教育履修点数：基礎教科 20点
(生涯教育履修点)

※申込方法

参加申込票(下記)にご記入後事務所までファックス(052-586-5680)してください。

※問合せ先

組織部長 大橋 功男
春日井市健康管理センター 臨床検査科
TEL0568-84-3060(内線 323)

記

日 時：平成26年5月30日(金曜日)
5月31日は、土曜日の為前日の5月30日金曜日に行います。
午後0時30分から概ね30分から1時間程度(予定)

場 所：名鉄百貨店本店ヤング館前(ナナちゃん人形南側)(予定)
(名古屋市中村区名駅1丁目)

参加申込票

施設名、連絡先	氏名	会員番号	交通費(往復)

*お1人様での参加もOKです。枠が足りない場合はコピーしてご利用ください。

AiCCLS

愛知県臨床検査標準化協議会

通信
(第27回)

愛知県臨床検査標準化協議会（Aichi Committee for Clinical Laboratory Standardization : AiCCLS）は、愛知県下の医療施設への臨床検査標準化の啓発活動を軸とした質の高い検査結果の共有維持を目的として、活動しています。

今回は、新しく発刊された刊行物、「CBCの誤差要因と対策」についてご紹介いたします。

血液検査は自動血球分析装置を使用する際には、誤差要因の発生機序を理解し適切な対応をしなければならないです。そのため、これらの対策につきとても見やすくまとめられていますので、是非ご活用ください。今回は誤差要因と対策で、白血球の臨床的意義を抜粋しました。

詳しい内容、購入方法については、愛知県臨床検査技師会HPの臨床検査標準化情報をご覧ください。

（AiCCLS：愛知県臨床検査標準化協議会）

I. 誤差要因と対策

1. 白血球

1) 臨床的意義

白血球は生体防御を担う細胞であり、正常末梢血には好中球、好酸球、好塩基球、リンパ球および単球の5種類の細胞が見られる。白血球数（WBC）増減の臨床的意義は、それぞれの細胞の機能が異なるため、どの細胞の増減であるかにより異なってくる。

白血球の生理作用を下記に示す^{1, 2)}。

好中球：炎症巣の細菌や異物を貪食し消化処理をする。末梢血中滞留時間は約10～12時間である。

好酸球：種々のアレルギー反応に関係している。貪食能、遊走能を有するが、好中球に比べれば弱い。

好酸球は末梢血中に約24時間滞留すると考えられている。

好塩基球：種々のアレルギー反応に際して、脱顆粒しヘパリンやヒスタミンを放出する。I型過敏症や炎症反応に関与するとされている。

単球：きわめて活発な遊走能や貪食能をもち、組織内に遊走しマクロファージに転化する。

リンパ球：T細胞、B細胞およびNK細胞に大別される。T細胞は細胞性免疫の中心的な役割を果たし、B細胞は液性免疫に主要な役割を果たす。NK細胞は非特異的なキラー活性を示す。

WBCは個人差が大きく、基準範囲の設定は難しい。白血球減少は、一般にWBC 3,000個/ μ L以下を指す^{3, 4)}。成人の好中球減少とは好中球数1,500個/ μ L以下を指す⁵⁾。

白血球増加は、成人では一般に末梢血WBCが10,000個/ μ L以上を指す^{3～5)}。成人の末梢血好中球増加とは好中球数7,000～8,000個/ μ L以上、リンパ球増加とはリンパ球数4,000個/ μ L以上、単球増加とは単球数950～1,000個/ μ L以上、好酸球増加とは好酸球数300～500個/ μ L以上を指す^{5, 6)}。